

広報

くりやま



※表紙の写真は芸能事務所からの要請で、インターネット上での公開ができません。

素敵な思い出ありがとう



角田保育所閉所式

3月25日 角田保育所

町立角田保育所（岡山美智子所長 所児数22人）で閉所式が行われ、子どもたちや父母、卒所者など146人が集い、思い出の園舎に別れを告げました。子どもたちは、歌「思い出のアルバム」を披露し、「思い出してごらん あんなこと こんなこと あったでしょう いつになっても忘れない」と春夏秋冬、角田保育所であった思い出を楽しそうに歌いあげました。



「広報くりやま」VOL.1231

平成24年4月1日

■発行／栗山町

〒069-1512

北海道夕張郡栗山町松風3丁目252番地

Tel 0123-73-7501 Fax 0123-72-3179

ホームページアドレス

<http://www.town.kuriyama.hokkaido.jp/>

E-mail

kouhoujouhou-g@town.kuriyama.hokkaido.jp

■編集／総務課広報・情報グループ

栗山町教育委員会

■印刷／山東印刷株式会社



道庁で未来につなぐ北の森

▼環境リダー育成のため、東京大学の呼びかけで雨煙別小に集まったアジア各国の学生と関わる機会がありました。講義やグループワークのレベルの高さにとっても刺激を受けました。刺激を敏感に感じ取って、それをどう活かしていくのかが大切なことだと思っています。（原田）

▼わがままを言う娘に注意すると、娘はふてくされながら「はい、はい」と返事をします。すると私は「はいの返事は、一回でいい」と注意をします。私は娘にあやまることについて「ごめん、ごめん」とあやまってしまう。娘も私に「ごめんは一回でいい」と注意をします。去年見た裏山の沢にいたオタマジャクシを思い出します。（渡辺）

▼目に涙を浮かべ歌う卒業生。在校生の瞳にも…。弥生三月は別れの季節。学校では、それぞれに残る卒業式が行われました。角田保育所でも閉所式が行われ、子どもたちが歌った「思い出のアルバム」が印象的で感動的でした。卯月四月は出会いの季節。学校でも職場でも、新しい出会いが待っています。心機一転、何かを始めるのもいいのかもしれません。何にしようかな？（中野）

編集後記